

2019年12月期 第2四半期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2019年8月6日

2019年 第2四半期 決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標(以下Non-GAAPベース)を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値(GAAP : IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

IFRS適用と業績予想の方法・開示項目の変更

- 今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。
- 2019年12月第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解を促進する有用な情報を提供するために、財務会計上の数値(GAAP)から企業買収などに関係した非経常項目やその他特定の調整項目を一過性の利益や損失として一定のルールに基づいて控除もしくは調整した「Non-GAAPベース」にて売上収益・半導体売上収益・売上総利益率・売上営業利益率を開示することといたしました。
なお、売上総利益率および売上営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。

2019年12月期 第2四半期決算概要

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期								
	第2四半期 (4-6月)	上期 (1-6月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月) 予想	第2四半期 (4-6月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比*3 (5/14時点)	上期 (1-6月) 実績	前年同期比	予想比*3 (5/14時点)
売上収益	2,033	3,889	1,503	1,850 ~1,930	1,926	-5.3%	+28.2%	+1.9%	3,429	-11.8%	+1.1%
半導体売上収益	1,991	3,810	1,467	1,815 ~1,895	1,890	-5.1%	+28.8%	+1.9%	3,357	-11.9%	+1.0%
売上総利益率*3	44.9%	46.1%	39.3%	43.5%	44.8%	-0.1pt	+5.5pts	+1.3pts	42.4%	-3.7pts	+0.8pt
営業損益(率)*3	330 (16.3%)	631 (16.2%)	72 (4.8%)	180 (9.5%)	274 (14.2%)	-56 (-2.0pts)	+202 (+9.4pts)	+94 (+4.7pts)	346 (10.1%)	-285 (-6.1pts)	+94 (+2.7pts)
当期損益	312	565	66	-	258	-55	+192	-	324	-241	-
EBITDA*4	571	1,108	323	-	532	-39	+209	-	855	-253	-
1米ドル=	108円	109円	111円	110円	111円	3円 円安	0円 円安	1円 円安	111円	2円 円安	0円 円安
1ユーロ=	131円	133円	126円	124円	125円	6円 円高	1円 円高	2円 円安	125円	7円 円高	0円 円安

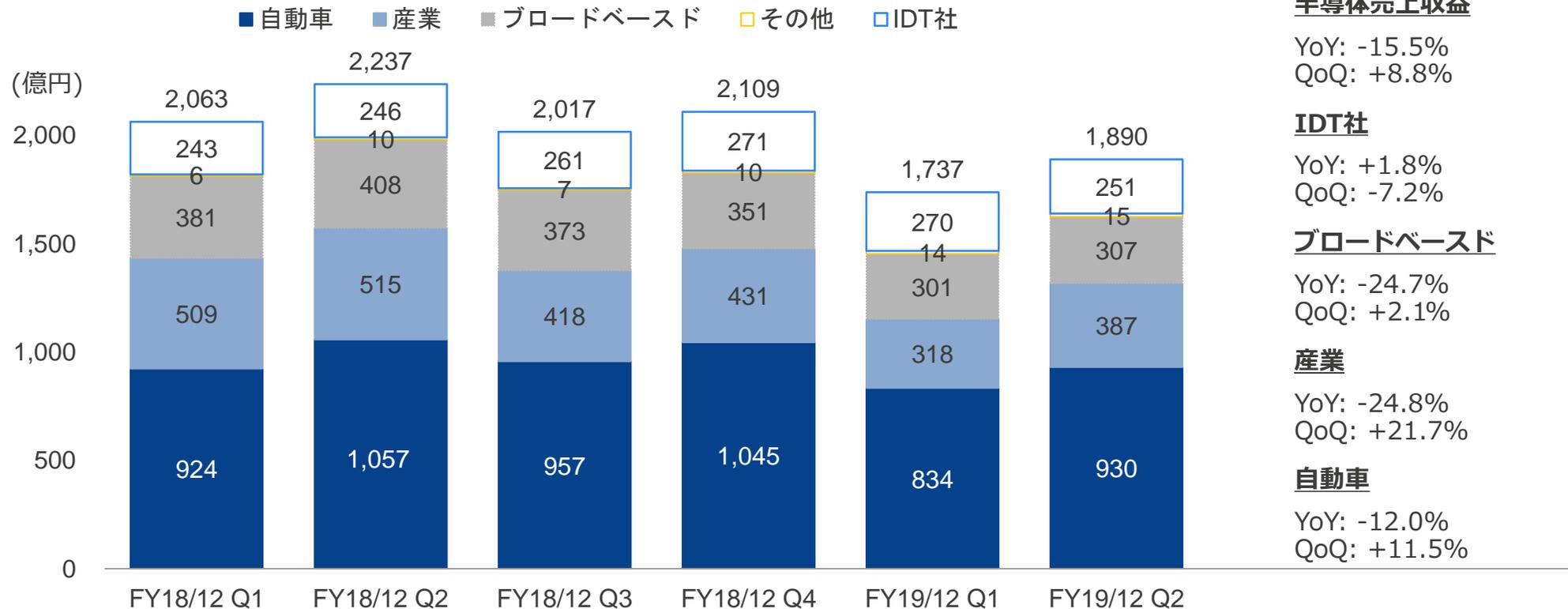
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比 *4: 営業利益+減価償却費及び償却費

半導体売上収益 四半期推移

IFRS、NON-GAAP、プロフォーマベース*1*2*3



半導体売上収益

YoY: -15.5%
QoQ: +8.8%

IDT社

YoY: +1.8%
QoQ: -7.2%

ブロードベースド

YoY: -24.7%
QoQ: +2.1%

産業

YoY: -24.8%
QoQ: +21.7%

自動車

YoY: -12.0%
QoQ: +11.5%

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

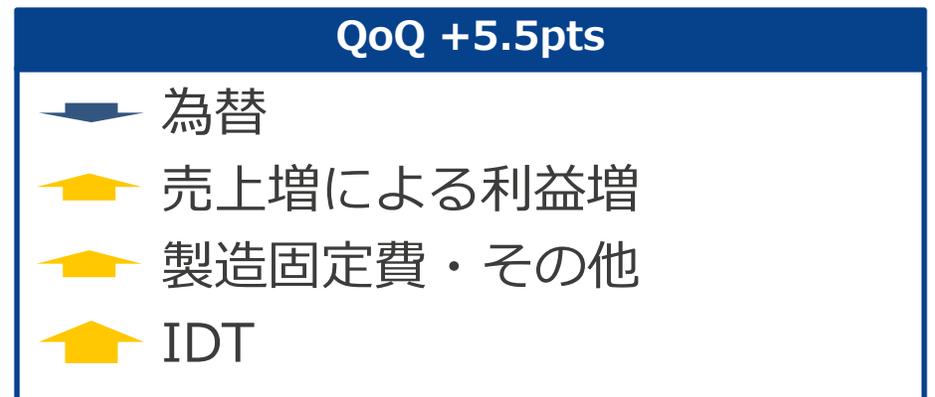
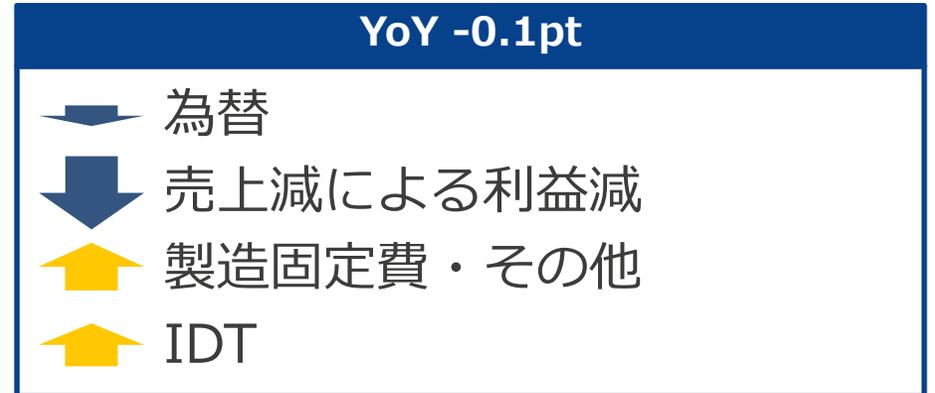
*3: プロフォーマベース: 2019年3月30日に買収完了したIDT社の売上収益について、買収完了以前も当社売上収益に加算した試算ベース

2019年12月期 第2四半期 売上総利益率

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

2018年12月期 第2四半期 実績 (2018年4-6月)	2019年12月期 第1四半期 実績 (2019年1-3月)	2019年12月期 第2四半期 予想 (2019年4-6月)	2019年12月期 第2四半期 実績 (2019年4-6月)
44.9%	39.3%	43.5%	44.8%

YoY: -0.1pt
QoQ: +5.5pts
予想比: + 1.3pts



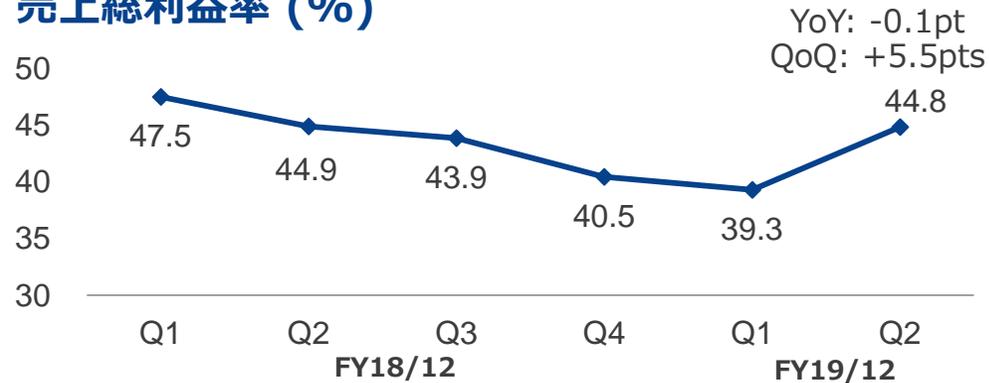
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

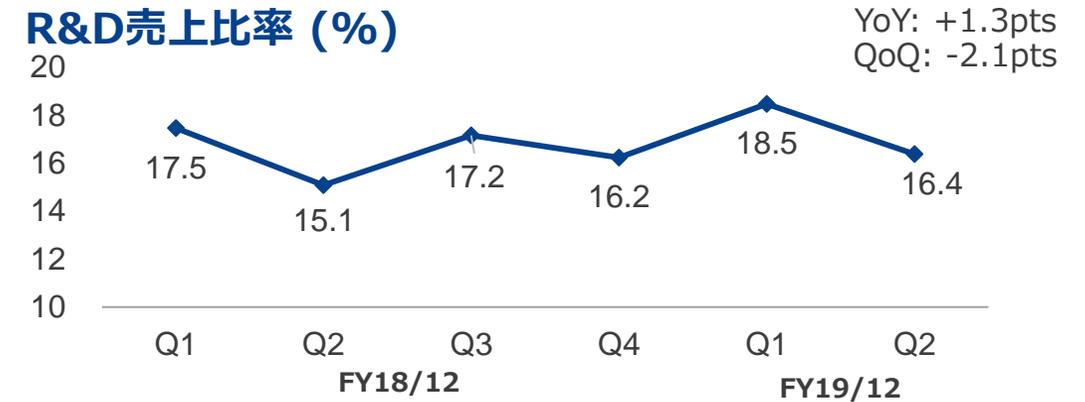
売上総利益率・営業利益率・OPEX推移

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

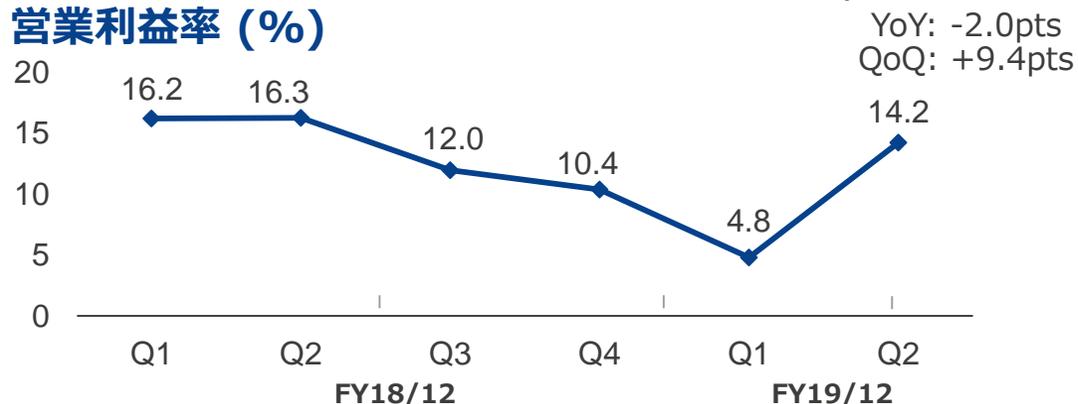
売上総利益率 (%)



R&D売上比率 (%)



営業利益率 (%)



SG&A・その他売上比率 (%)



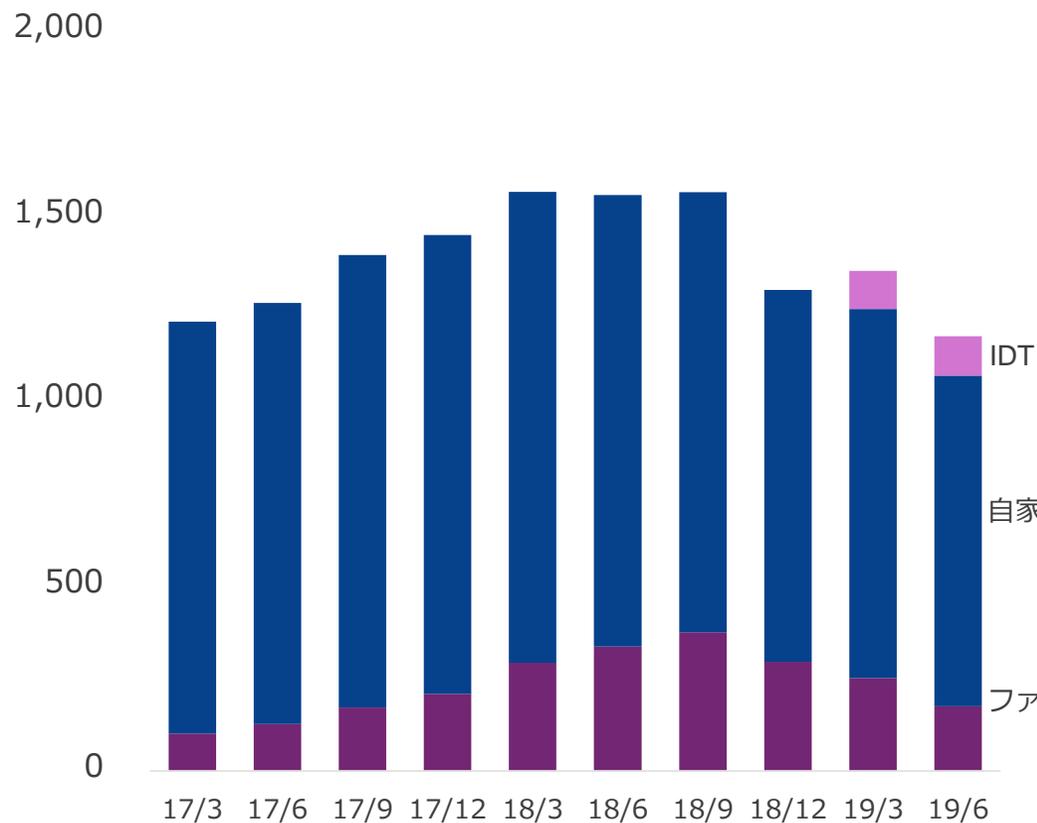
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

在庫状況

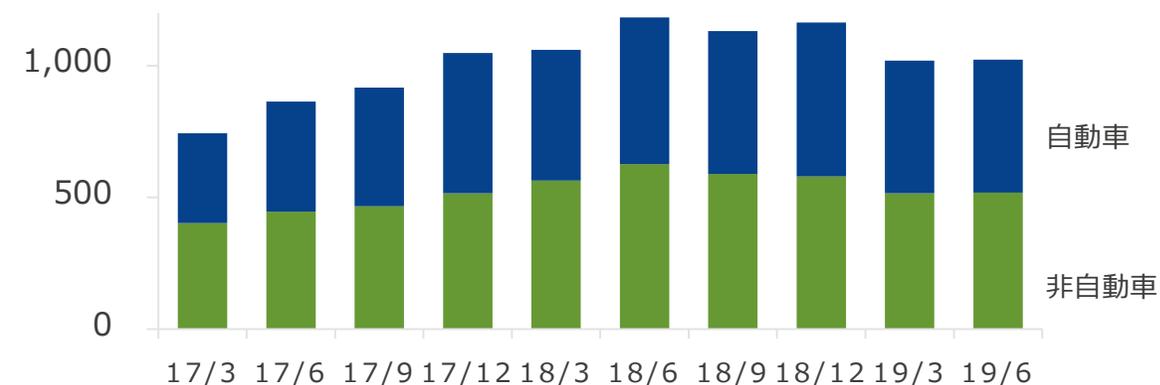
管理会計ベース、億円

当社在庫推移 (仕掛品 + 完成品)

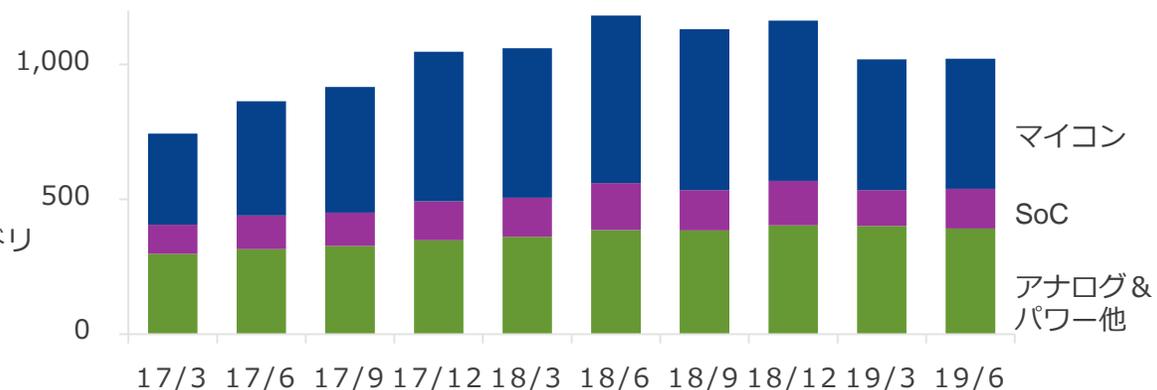


*1: 日系顧客向けの特約店16社と海外のディストリビューター (旧インターシル社分含む) の在庫総量

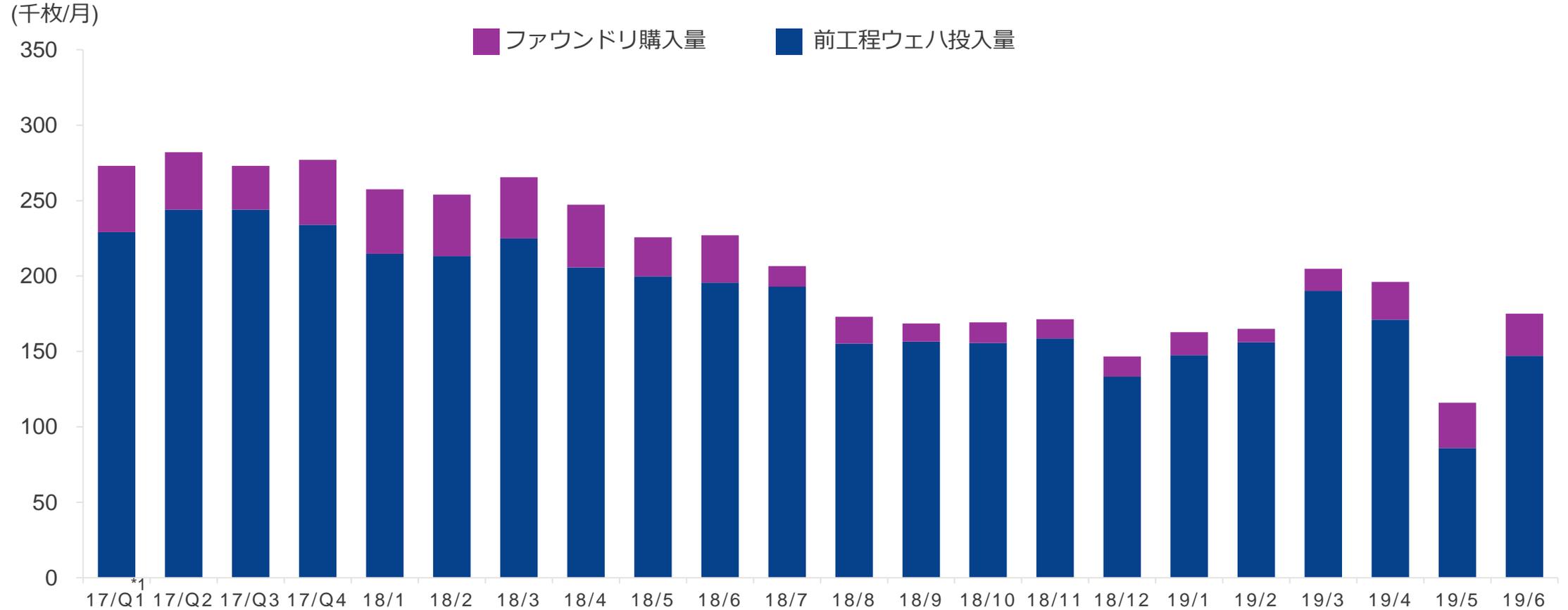
販売チャネル在庫*1 (分野別)



販売チャネル在庫 (製品別)



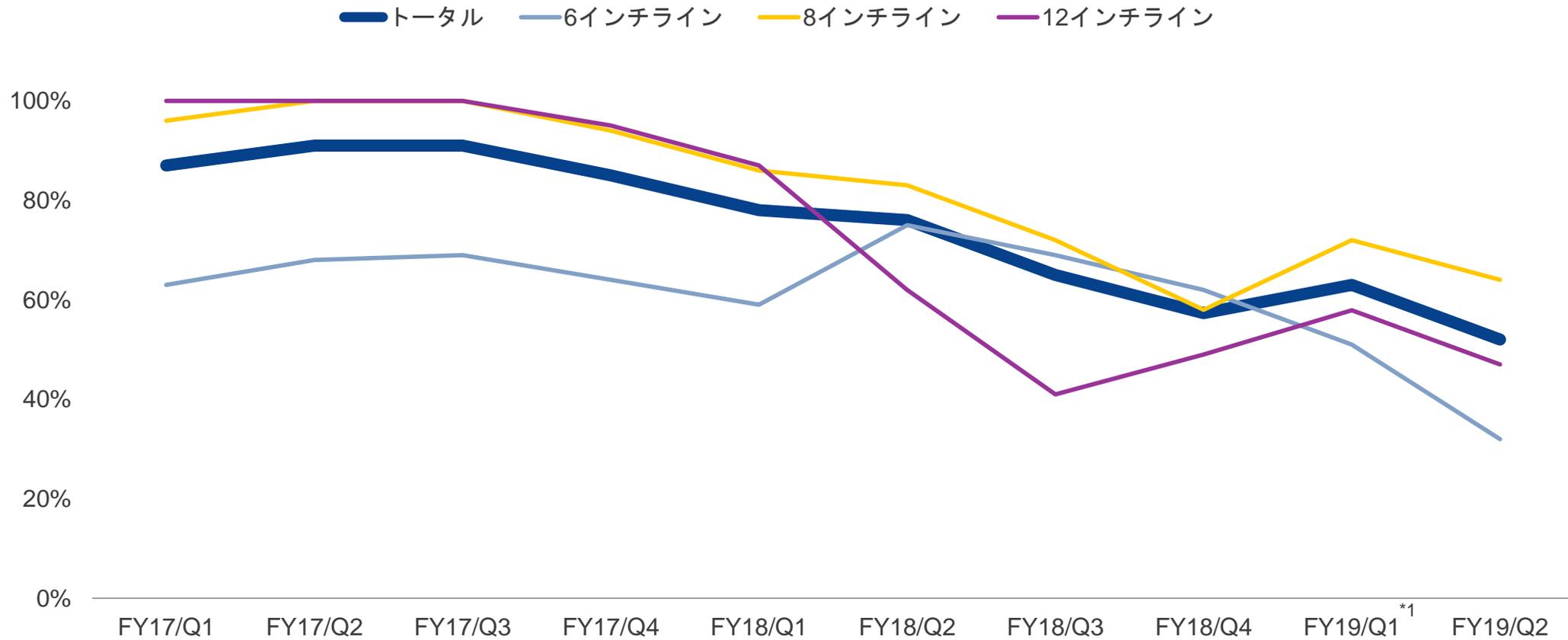
前工程ウェハ投入量および ファウンドリ購入量月別推移 8インチ換算



*1 : FY17は各四半期の月平均ウェハ投入量およびファウンドリ購入量を表示しております。

前工程稼働率四半期推移

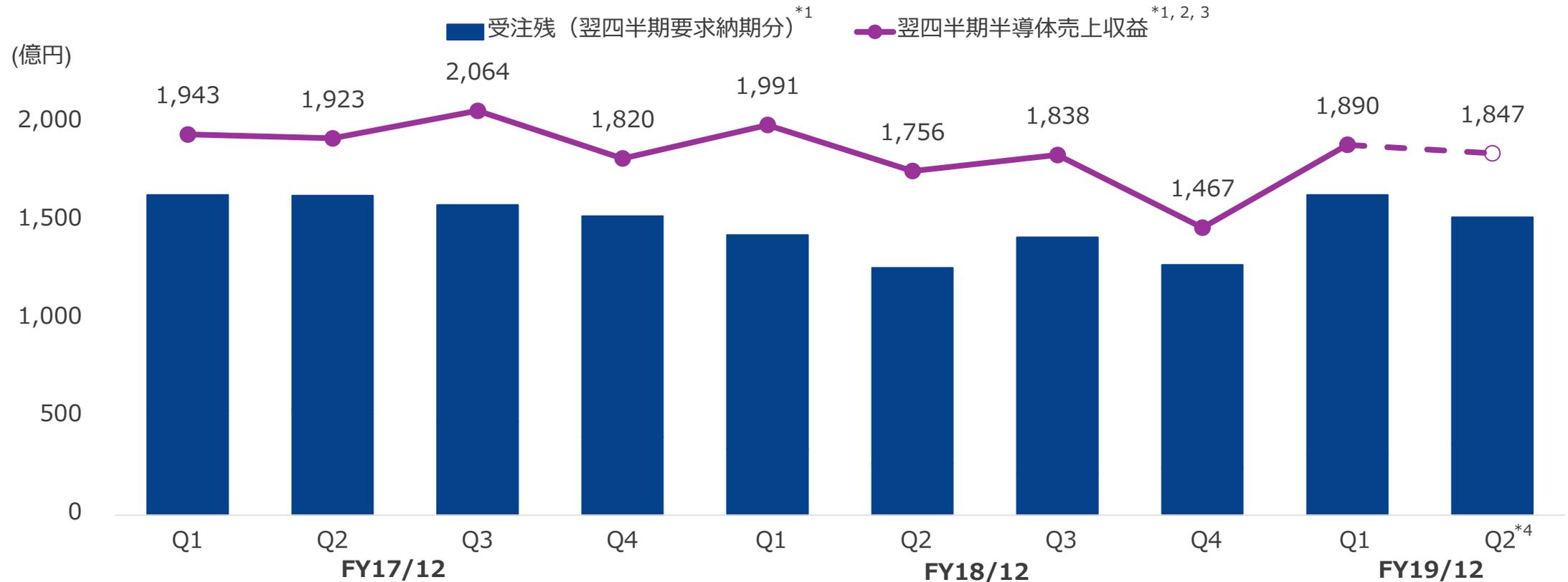
ウェハ投入量ベース



*1: 6インチラインの稼働率は前回決算発表時点（2019年5月14日）から修正しています。

各四半期末の受注残状況と翌四半期半導体売上収益

受注残：翌四半期までの顧客要求納期分



*1：為替レートは、実勢レートで計算しております。

*2：FY17/12の数値はJ-GAAP(Non-GAAP)の翌四半期半導体売上高です。

*3：各四半期の棒グラフの上に、翌四半期の半導体売上収益を折れ線グラフで表示しております。

*4：FY19/12 Q2の翌四半期の半導体売上収益は予想の中間値です。

2019年12月期 第3四半期予想

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期					
	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月) 予想	前年同期比	前四半期比	9か月推計 (1-9月) 予想	前年同期比
売上収益	1,799	5,688	1,926	1,840 ~1,920	+2.3% ~+6.8%	-4.5% ~-0.3%	5,269 ~5,349	-7.4% ~-6.0%
半導体売上収益	1,756	5,566	1,890	1,807 ~1,887	+2.9% ~+7.5%	-4.4% ~-0.1%	5,164 ~5,244	-7.2% ~-5.8%
売上総利益率*3	43.9%	45.4%	44.8%	45.0%	+1.1pts	+0.2pt	43.3%	-2.1pts
営業利益率*3	12.0%	14.9%	14.2%	16.5%	+4.6pts	+2.3pts	12.4%	-2.5pts
1米ドル=	111円	110円	111円	108円	3円 円高	3円 円高	110円	0円 円安
1ユーロ=	129円	131円	125円	121円	8円 円高	4円 円高	124円	7円 円高

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっていません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

APPENDIX

本パートでは、主にGAAP(IFRS基準)準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP間の調整項目

2018年12月期以降*1

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。

(億円)	2018年12月期				2019年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
売上収益(PPA調整後)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503	1,926
PPA影響(売上収益)	-	-	-	-	-	-
売上収益(Non-GAAP)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503	1,926
売上総利益(GAAP/PPA後)	867	908	789	759	572	735
PPA影響(固定資産償却:COGS*2)	+3	+3	+3	+3	+3	+3
PPA影響(無形資産償却:COGS)	-	-	-	-	-	+7
PPA影響(棚卸資産の時価評価:COGS)	-	-	-	-	-	+130
株式報酬費用(COGS)	+1	+1	+2	+2	+2	+1
その他調整項目*3(COGS)	+9	+0	-5	-5	+13	-5
その他非経常項目*4(COGS)	-	-	-	-	-	-8
売上総利益(Non-GAAP)	881	913	789	760	590	864
売上総利益率(Non-GAAP)(%)	47.5%	44.9%	43.9%	40.5%	39.3%	44.8%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 売上原価 *3: 期間費用を平準化するための調整項目(税金等)が含まれております。 *4: 一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP*1間の調整項目

2018年12月期以降*2

(億円)	2018年12月期				2019年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
営業利益 (GAAP/PPA後)	234	328	131	-11	-13	-25
売上総利益段階までの調整項目	+14	+5	-0	+0	+19	+128
PPA影響*3 (無形資産償却 : SG&A*4)	+41	+37	+38	+39	+38	+41
PPA影響 (固定資産償却 : R&D*5)	+1	+1	+1	+1	+1	+1
PPA影響 (固定資産償却 : SG&A)	+0	+0	+0	+0	+0	+0
株式報酬費用 (R&D)	+3	+5	+5	+5	+4	+12
株式報酬費用 (SG&A)	+8	+8	+7	+7	+10	+15
その他の調整項目*6 (R&D)	+1	-0	-0	-0	+1	-0
その他の調整項目 (SG&A)	-7	-10	-9	+26	-7	-9
その他非経常項目*7 (R&D)	-	-	-	-	-	-8
その他非経常項目 (SG&A、他)	+7	-44	+43	+127	+20	+119
営業利益 (Non-GAAP)	301	330	215	194	72	274
営業利益率 (Non-GAAP) (%)	16.2%	16.3%	12.0%	10.4%	4.8%	14.2%

*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2 : 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3 : PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。 *4 : 販売費及び一般管理費 *5 : 研究開発費

*6 : 期間費用を平準化するための調整項目(税金等)が含まれております。 *7 : 買収関連費用や株式売出し費用など、一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP*1間の調整項目

2018年12月期以降*2

(億円)	2018年12月期				2019年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
四半期利益(GAAP/PPA後)	186	316	118	-109	-18	-12
営業利益段階までの調整項目	+67	+3	+84	+205	+85	+299
純利益調整項目(PPA影響*3)	-	-	-	-	-	-
純利益調整項目 (Non-GAAP調整による税効果影響)	-1	-6	-4	-24	0	-30
四半期利益(Non-GAAP)	252	312	198	72	66	258
Non-GAAP EPS*4	15.1	18.7	11.9	4.3	4.0	15.2

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。

*4: 基本的一株当たり四半期利益

2019年12月期 第2四半期決算概要

IFRS*1

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

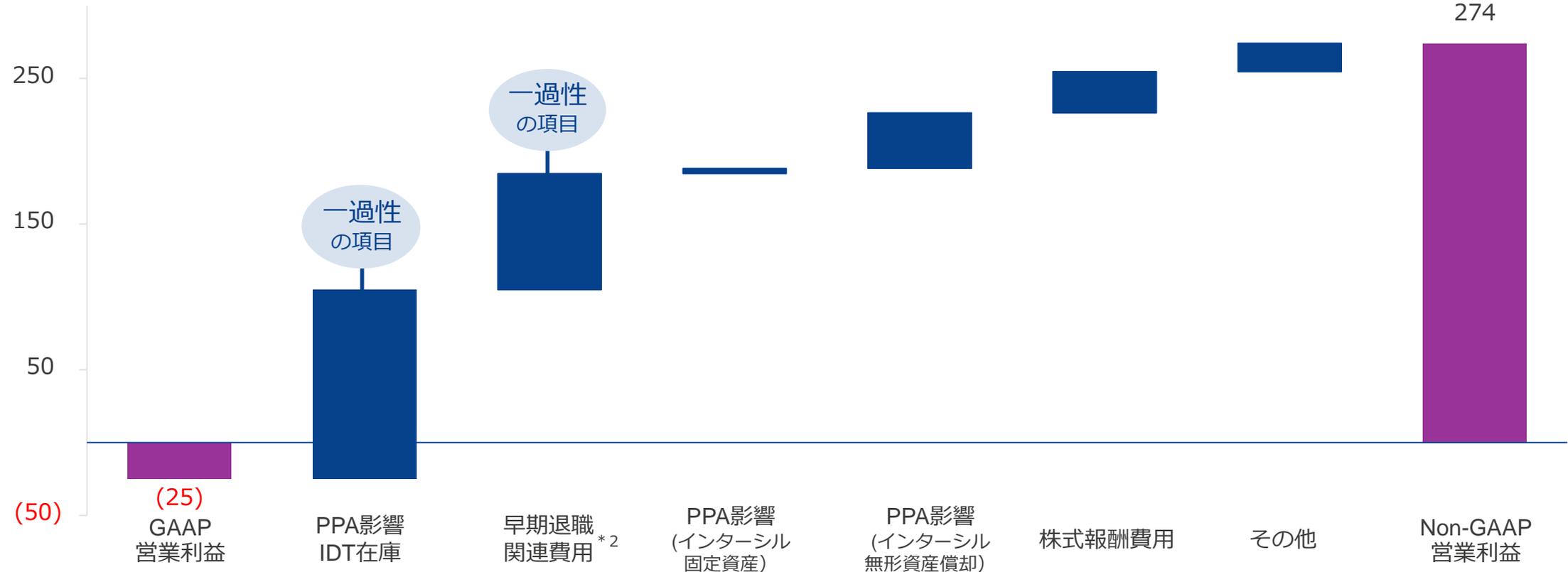
(億円)	2018年12月期		2019年12月期					
	第2四半期 (4-6月)	上期 (1-6月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月) 実績	前年同期比	前四半期比	上期 (1-6月) 実績	前年同期比
売上収益	2,033	3,889	1,503	1,926	-5.3%	+28.2%	3,429	-11.8%
半導体売上収益	1,991	3,810	1,467	1,890	-5.1%	+28.8%	3,357	-11.9%
売上総利益率	44.7%	45.7%	38.1%	38.2%	-6.5pts	+0.1pt	38.1%	-7.5pts
営業損益(率)	328 (16.1%)	561 (14.4%)	-13 (-0.8%)	-25 (-1.3%)	-353 (-17.4pts)	-13 (-0.5pt)	-38 (-1.1%)	-599 (-15.5pts)
当期損益	316	502	-18	-12	-327	+7	-30	-532
EBITDA*2	609	1,125	280	285	-324	+5	566	-559
1米ドル=	108円	109円	111円	111円	3円 円安	0円 円安	111円	2円 円安
1ユーロ=	131円	133円	126円	125円	6円 円高	1円 円高	125円	7円 円高

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。
ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 営業利益+減価償却費及び償却費

2019年12月期 第2四半期 営業利益のGAAP(IFRS)とNON-GAAP*1間の調整項目

GAAP→Non-GAAP (億円)



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 早期退職関連費用は早期退職と、早期退職に伴う賞与引当および有給休暇引当の取り崩しのネット金額を表示しております。

バランスシートの状況

IFRS*1

(億円)	2018年 3月末	2018年 6月末	2018年 9月末	2018年 12月末	2019年 3月末 ^{*7}	2019年 6月末 ^{*7}
総資産	10,857	11,197	11,253	10,552	18,432	16,737
うち 現金及び現金同等物 ^{*2}	1,243	1,603	1,845	1,888	1,967	1,165
うち たな卸資産	1,367	1,355	1,386	1,154	1,298 ^{*8} (IDT社連結前1,093)	994
うち のれん	1,792	1,865	1,916	1,872	9,108 ^{*9}	8,852
うち 無形資産	1,859	1,834	1,780	1,665	1,751 ^{*9}	1,605
負債合計	5,157	5,040	4,885	4,543	12,052	10,747
うち 有利子負債 ^{*3}	2,295	2,339	2,312	1,950	9,651	8,527
資本合計	5,700	6,157	6,368	6,010	6,380	5,990
D/Eレシオ (グロス) ^{*4}	0.40	0.38	0.36	0.33	1.52	1.43
D/Eレシオ (ネット) ^{*5}	0.18	0.11	0.07	0.01	1.21	1.23
自己資本 ^{*6} 比率	52.2%	54.7%	56.3%	56.7%	34.5%	35.6%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されております。

*3: 借入金(流動負債)+借入金(非流動負債)+リース債務(流動負債)+リース債務(非流動負債)+社債の合計

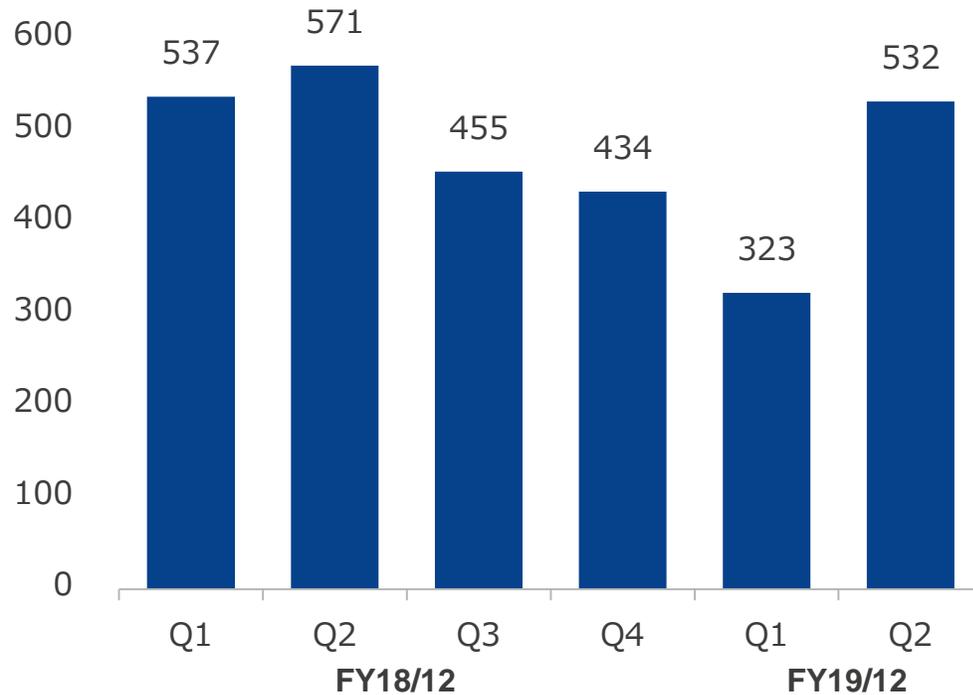
*4: 有利子負債/自己資本 *5: (有利子負債-現金及び現金同等物)/自己資本 *6: 自己資本(親会社の所有者に帰属する持分合計)/負債及び資本合計 *7: IDT社連結後の数値

*8: IDT連結前のルネサスの棚卸資産1,093億円+IDTの棚卸資産75億円+PPA(IDT社の買収にかかる取得原価の配分)影響(IDTの棚卸資産を公正価値評価)130億円

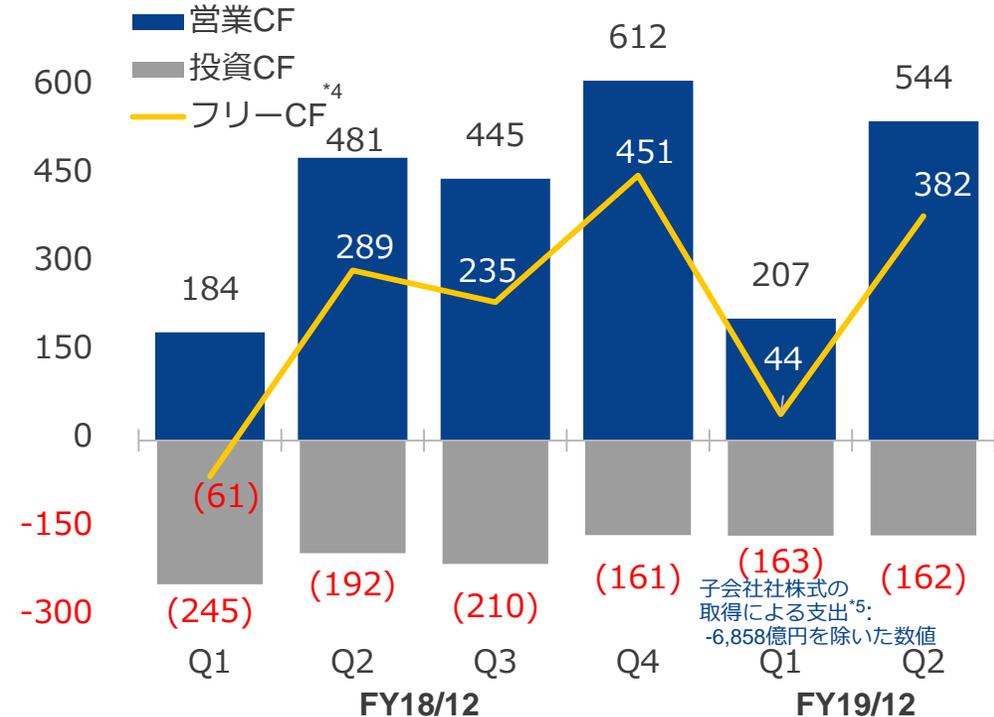
*9: 2019年3月に買収を完了したIDT社の取得原価の配分が完了していないため、入手可能な情報に基づき、暫定的に算定された金額

NON-GAAP*1 EBITDA*2 およびIFRS*3キャッシュ・フローの状況

Non-GAAP EBITDA(億円)



IFRS キャッシュ・フロー(億円)



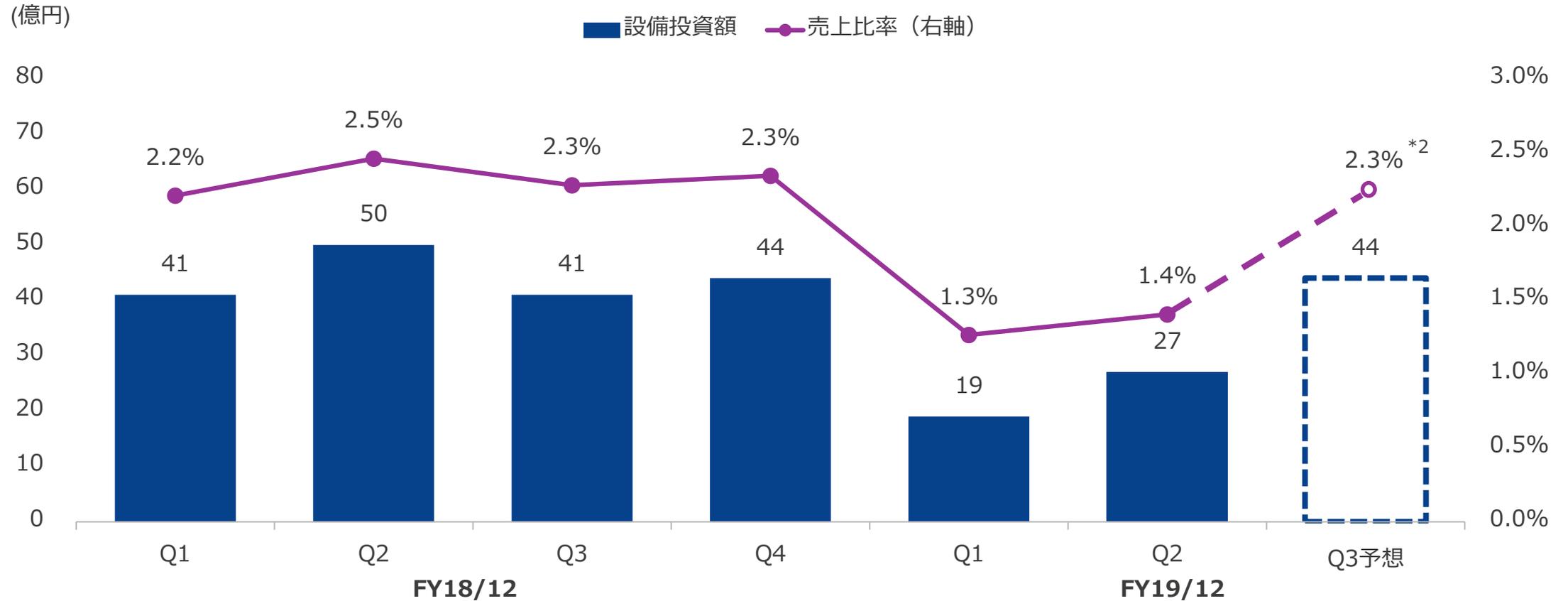
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。 *2: 営業利益+減価償却費及び償却費

*3: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*4: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー *5: IDT社株式の取得にかかる支出

設備投資額の状況*1



*1: 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません

*2: 売上比率は売上収益予想レンジの中央値との対比

2019年度 第2四半期のハイライト

2019年4月1日～6月30日の主な広報発表

経営

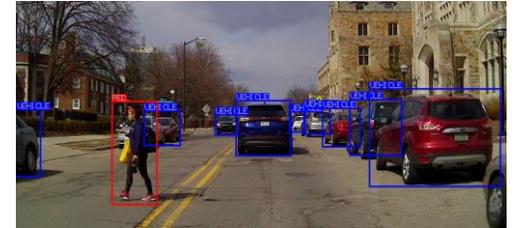
- 7月1日付でCFOの柴田英利が新たに代表取締役社長兼CEOに就任
- 産業など幅広い分野向けにルネサス製品とIDT製品を組み合わせた32種類の「Winning Combination」を発表



柴田 英利

自動車

- 上海フォルクスワーゲンとの共同研究所を中国に設立し、中国自動車市場向けの開発を加速
- 次世代28nmプロセス車載制御マイコン向けに、大容量化、高速読み出し、OTA *1対応を実現するフラッシュメモリ技術を開発
- ADASや自動運転システムに向けて、R-Carを活用した認識用クイックスタートソフトウェアを提供開始



産業他

- 次世代AIチップに向けて、新たなProcessing-in-Memory *2技術を開発、AI処理実行性能で世界最高クラスの8.8 TOPS/W *3を実証
- 産業イーサネット通信EtherCAT®に対応したRXファミリのフラッグシップモデル「RX72M」を発売
- 高精度なセンシング、計測器区に向けたRXマイコンの第一弾、業界最高クラス精度のアナログフロントエンド内蔵「RX23E-A」を発売
- 業界初、低軌道の小型宇宙衛星向けに、放射線に強いプラスチックパッケージを採用したPWMコントローラとGaN FETドライバを発売



*1: Over the Airの略で、無線によりソフトウェアなどの更新を行う技術 *2: メモリ回路内でメモリデータの読み出し中に積和演算を行う技術

*3: Tera Operations per Second per Wattの略で、1Wの電力で可能な演算回数を表す（8.8 TOPS/W は、1Wの電力で8.8兆回の演算が可能な性能）

Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。